

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.32) 2010.12.20

もくじ

- 1 . 10 月度 ボランティア活動・報告
＜天津小学校：緑の教室・サポート＞
- 2 . 11 月度（1）ボランティア活動・報告
＜秋の研修会聴講とクラフト作成＞
- 3 . 11 月度（2）ボランティア活動・報告
＜下敷き（秋バージョン）とクラフトの作成＞
- 4 . 11 月度（3）ボランティア活動・報告
＜演習林：秋の一般公開サポート＞
- 5 . 11 月度（4）ボランティア活動・報告
＜演習林：猪ノ川溪谷・三石山ガイド＞
- 6 . 2011 年 1 月度ボランティア活動・参加者募集
＜ニホンジカ調査サポート＞
- 7 . 1 ～ 2 月度ボランティア活動・予定
＜Abies 版・冬の森を歩こう＞

10 月度ボランティア活動・報告

～天津小学校：緑の教室・サポート～

10月26日（火）に清澄作業所周辺で天津小学校：緑の教室が行われ、岩崎（寿）、米倉さんと石川夫婦の4名が参加しました。雲は多めながらもまあまあのお天気で予定したプログラムをすべて実施することができました。

この教室は地元の天津小学校の5年生を対象に例年おこなわれ、5年生児童38人、保護者35人、先生4人が参加されました。

演習林の廣嶋先生を始め12人＋Abies4人での対応です。演習林の職員の4割強が対応していることになり、これらの行事を企画・実施するのが大変ということがわかります。Abiesのサポート役参加も意味のあることと認識しました。



開講式の様子

元気な子供たちと1日をすごすことも楽しいもので、サポートで参加してもなにも役にたたないなどと考えずに気楽に参加することをお勧めします。

行事は9時30分から子供たちの元気な挨拶（開校式）で始まり、次にA、B、C、D班の4班にわかれて、4項目のプログラムを順次まわります。また昼休み時には森林博物資料館の見学と木のぼり体験を行います。

プログラムの内容は

①千年スギの大きさを測る ～清澄寺～

太さ：木の周囲を親子で手をつないで、その長さを、^{けんなわ}間縄（目盛のある縄状のものさし）で測って計算する。

高さ：目測、直角二等辺三角形、バーテックスで測る。

②林内散策 常緑樹天然林、高齢スギ人工林の林を歩く。

東漢森→今澄→荒檜沢→郷台林道

③崩壊地へのドングリの種まき ～毘沙門～

土地の崩壊を止める方法の説明、植えつけるドングリの説明、植えつけ指導

④丸太切り 体験

直径約10cm前後のスギやヒノキの丸太をのこぎりで切る。またチェーンソーによる丸太切りの見学

岩崎（寿）さんはA班の巡回、米倉さんは丸太切り指導、石川夫婦はドングリの種まきをサポート担当しました。

石川夫婦が担当した毘沙門のドングリをまく崩壊地ですが、全然木が育っていませんでした。昨年わずかに見られた10cm程の高さのコナラの苗もなく、事前の草刈りのときに誤って刈られてしまったようでした。

土止めの枕木も腐ってきたので、このままでは再度崩壊の恐れがあります。

ここで今後ドングリをまいても木が育ちそうもないので、来年からはドングリをまくのではなく、苗に育ててから植えることにしたらと思いました。

11月度(1)ボランティア活動・報告

～秋の研修会聴講とクラフト作成～

11月16日(火) 午前に清澄講義室で演習林・秋の研修会が行われ、恵さんと石川の2名が参加しました。発表内容は次のとおりです。研究対象の場所となっている“榎ノ木台”はまだ見たことがないのでぜひ見学する機会をつくりたいと思いました。



演習林の研究内容を聞かせてもらうことは個人的に勉強にもなりますが、Abiesがサポートすることで演習林の役に立つ活動テーマをさがすという目的もあると考えています。

昼食のカレーライスを食べた後、午後は安全講習会ですが、私たちはこれには参加しないでクラフトづくりをしました。

クラフトづくりは翌日の17日に行う計画ですが、参加された恵さんの要望もあり、実施しました。

なお、突然ではありましたが、演習林の根上さんから昼休み時間に安全講習会のため来られた鴨川警察署のおまわりさんに森林博物資料館の説明をして欲しいとの依頼があり、案内をしました。

研修会の発表内容は次の通りです。

日本森林学会関東支部大会の報告

- “榎ノ木台” I区立木の樹齢調査→木の寿命調査
- “長期生態系プロット” モミ・ツガ天然林における10年間の森林動態
コナラ・アカガシ林→モミ・ツガ林→カシ・シイ林への森林動態の調査
- スギ人工林におけるL I D E R取得地形データによる立木生産量の推定
ヘリコプターからレーザーを発射して地面と木の頂上との得られた測定差とGPSの資料から広い範囲の森林の材積量やCO₂の蓄積量などを推定する技術
L I D E R : Light Detection and Ranging、Laser Imaging Detection and Ranging

技術職員研修会の報告

- キヨスミミツバツツジの増殖技術確立に関する研究
一般のミツバツツジとの交雑を防ぐために、従来出来ないと言われていたさし木増殖技術を確立する。可能性がありそう。
- マツのさし木試験 (マツノザイセンチュウ抵抗性マツ)
現在、実生で育てているが①抵抗性が安定しない。②安定した品質のマツが育てら

れないなどの問題があるので対策としてさし木増殖を研究する。マツもさし木増殖はできないといわれているが、なんとかなりそうな様子。

その他 研修会報告

○富士演習林、北海道演習林での研修会参加の報告

11月度(2) ボランティア活動・報告 ～下敷き(秋バージョン)とクラフト作成～

11月17日(水)に下敷き(秋バージョン)とクラフトの作成を清澄宿舎で行いました。参加者は石松夫婦、鷺津さんと石川夫婦の5名です。下敷きはすでに春バージョンをつくってありますので春秋セットで“秋の一般公開”のとき、販売を行うつもりです。

クラフトについては例年通り、下敷きや演習林の販売物(ガイドブック、絵葉書、オリジナル箸セット)を買ってくれた皆さんへのおみやげとして配布する予定です。



1. 下敷き(秋バージョン)

下敷きは東京大学千葉演習林の秋という題目で演習林の一般公開の様子、紅葉の景色他風景、秋の花などの生き物の写真をA4サイズの写真用紙に35枚ならべたもので、汚れ防止のためラミネートをしたものです。

写真は事前に用意してありますので今回はラミネート作業をおこないました。販売数は50枚用意しました。

2. クラフトの作成

今回のクラフトは従来からつくっていた、
①アカガシのドングリの根付け。②ムクロジの実の根付け。③木の枝の鉛筆形根付けの3種類に加えて、④アカガシのドングリ付の木製クリップを合わせて100組用意しました。



11月度（3）ボランティア活動

～演習林：秋の一般公開サポート～

今年の秋の一般公開は11月26日(金)、27日(土)と12月3日(金)、4日(土)の4日間にわたって行われました。今までは土、日曜日や祝日の開催でしたが今年から平日の金曜日と土曜日の開催となりました。11月26日、27日と12月4日はまあまあのお天気でしたが、12月3日は雨風が強く大荒れの天気となり、中止となってしまいました。



今年は夏の酷暑の影響で紅葉の様子が心配されましたが、まったく影響はなく素晴らしい状態の紅葉をみることができました。来林者は総計3,128名です。

Abiesとしてはサポート役として累計12名、一日4名から8名が参加しました。参加された皆さんご苦労さまでした。

サポート内容は受付での入場者のカウント、演習林案内地図の配布の手伝いと下敷き(秋バージョン)の販売、利用者の誘導やマナー指導などです。

下敷(秋バージョン)は50枚準備しましたが、全部完売しました。同時に販売した(春バージョン)は残りの17枚を売るつもりでしたが好評で足らなくなり追加して結局31枚売れました。とくに今回春バージョンを売ることで、春の一般公開があることと、その素晴らしさを知らせるという効果を感じました。

Abiesとしてはものを販売することは初めてですが、資金を得たいということではなく、紅葉演習林、または我々AbiesのPR手段ということを踏まえて企画したいと考えています。



クラフトについては100組用意しましたが、前2日で無くなってしまい、さらに20組追加製作をしました。これらは単品で販売したのではなく、演習林やAbiesの販売品を買っていただいた方におみやげとして差し上げました。単品で売ってくれないかとの要望があったりするほどでした。

11 月度（4）ボランティア活動

～ 演習林：猪ノ川溪谷・三石山ガイド～

11月28日（日）に「クラブツーリズムハイキングツアー」への千葉演習林ガイドを石川（輝）が行いました。当日は朝から快晴で紅葉も最高に美しい時期で1日中快適に歩くことができました。

参加者は横浜・町田方面からこられた24名で長崎十字路→猪ノ川溪谷→柚ノ木歩道→地蔵峠→三石山→亀山ダムという5時間はかかる長いコースを歩きます。



長崎十字路に10時30分頃到着ということでしたので、石川は9時18分頃に久留里線の上総亀山駅を降りて、ゆっくりと長崎十字路まで歩き、皆さんを待ちました。

長崎十字路には同じコースを案内する千葉県森林インストラクターの皆さんが待っていました。同日、私には同時刻に他のグループの案内があるという意識がなかったの、びっくりするとともにいやな予感がしましたが、予感が残念ながらいくつかあたって問題をのこしました。

到着予定時刻から遅れずにバスが長崎十字路に到着しました。24名参加ということで中型バスかと思っていましたが、配車の都合なのか、横にクラブツーリズムのロゴのある40名は乗れる豪華大型バスでした。

長崎十字路付近は車が多く通り危険なのでまずは歩きだして、途中トイレに寄ってもらいました。ここで森林インストラクターの案内するグループと一緒に、自分の案内するグループの人数把握に苦労しました。各グループは充分時間差をつけて案内しなければならないと思いました。

かなり時間がたってから折木沢橋の手前で皆さんを集めることが出来たので、挨拶とコース案内、注意事項などを説明して猪ノ川溪谷に向かって歩きはじめました。

今回はコースが長いのとハイキングということですので、演習林の説明は都度行うのではなく、休憩時に行う方法をとりました。

紅葉の見どころは前半なので、最初はゆっくりのペースで歩き、写真などをとる時間をつくりました。少し遅くなりましたが、昼食は“新田”^{しんた}で12時半頃にとりました。遅れ気味なので1時には出発です。この時も森林インストラクター案内のグループと一緒にになりましたが、ここで彼らには先へ行くことに自信のない方にもどるコースがあることを発



表されてしまいました。我々のグループで戻るといふ人が出たら対応できないのでどうしようと思いましたが、幸い我々のグループで戻るといふ人はおりませんでした。

柚ノ木歩道の下に到着して今回一番の難所のスギの林の中の急な登りとなります。ここで、今回の参加者の皆さんが大変歩きなれている方ばかりと

感じ、案内に自信がつかしました。一番先頭を私が歩き、最後を添乗員さんがついたので、添乗員さんもなれている方で助かりました。添乗員さんの発案で全体を4班に分けて、休憩をとるごとに先頭を交替するという方法をとったのですが、これは非常に良い方法と感心しました。今後、私もこの方法を使わせてもらうことにします。

地蔵峠で一休みして三石への林の中の尾根筋を歩きます。この道は展望もなく、つまらないコースになるかと思っていましたが、千葉の山が意外に険しいのに驚きながらも、歩くことそのものを楽しむことを目的に参加されている様子で満足していただけました。中級向けのハイキングコースということで参加しているとのこと、このコース設定は良かったと思います。

その後、三石寺の駐車場でトイレ休憩をして、車の通る表参道の道をたんと下り、亀山ダムにつきました。4時半頃の到着です。ここで待っていたバスにのってもらい、手をふっての見送りとなりました。

私自身はその後、上総亀山駅まで歩き、久留里線に乗って木更津駅経由で千葉市まで帰りました。結局、上総亀山駅から歩いて上総亀山駅にもどったということになりましたが、満足のいくガイドが出来て喜んで帰っていただけたと思えました。

今まで自然観察会と考えた場合、このコースはどうかと疑問に思っていましたが、ハイキングの場合、このコースで良かったと再認識しました。

問題点としては、今まで述べた他に、①事前に互いの内容確認ができなかったこと、②ゲートの開け閉めのタイミングがわるく、黒滝を見に来た人がゲートの中に入ってしまったこと、③案内コースの最終点が三石山までのグループと亀山湖までのグループと、グループによって異なったことなどがあります。誰が良い悪いでなく、相手側から見てこちらの対応が案内グループによって違うのは演習林の印象を悪くすると思われるので事前にお互いレベル合わせが重要との反省をしました。

2011年1月度ボランティア活動・参加者募集

～ニホンジカの生息数調査サポート～

2011年1月27日（木）～28日（金）にニホンジカ生息数調査が行われます。

千葉演習林内のそれぞれ割り当てられた区画の中を一定時間歩き、シカを始めとした動物を、目撃した頭数から動物の生息密度を調査します。この調査をサポートする参加者を募集しています。詳細は別に案内済みですので、そちらをご覧ください。

1～2月度ボランティア活動・予定

～Abies版・冬の森を歩こう～

演習林が主催する一般参加者対象の“冬の森を歩こう”は今年には行われません。そこで、今年にはAbiesの活動として“冬の森を歩こう”を行います。

時期は1月下旬から2月初めで、今までほとんど歩いたことのない演習林の南側方面を歩きたいと思います。詳細コースは下見をして決めたいたと思いますが、この方面は外国樹木見本林や清澄八山のうちのいくつかがある魅力ある地域です。実施日も土曜または日曜日と考えています。

詳細、後日案内します。ご期待ください。



千葉演習林ボランティア会 Abies 通信

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

TEL/FAX : 043-251-1390

石川 輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321